

## 第193回通常国会開会

日頃よりご支援を賜り厚く御礼申し上げます。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

今年も全国から多くの新年を祝う会のご案内を頂戴し、例年通り4日の仕事始めからご支援を頂く皆様方への年頭のご挨拶回りをさせて頂いておりますが、残念ながら全てにはお伺いできないでおります。ここに改めてお詫び申し上げます。

さて、第193回通常国会は本月20日に召集され、衆参の両本会議において、安倍首相の施政方針演説など政府4演説が行われました。国会では、平成28年度第3次補正予算案に続いて平成29年度予算案の審議が行われ、6月18日までの150日間にわたる論戦がスタートします。

今回提出された平成29年度の政府予算案は、一般会計の歳出総額が9兆7千454億7千億円、前年度当初予算より7千329億円増加して、5年連続で過去最高となっています。このうち社会保障関係費は政府全体で3兆2千473億5千億円、前年度当初予算に比べ約4千997億円増となっています。厚生労働省が概算要求時に示した高齢化に伴う、年金・医療等の約6千400億円の自然増に対しては、経済・財政再生計画の「改革工程表」等に沿って、高額療養費等の見直しなど、世代間の負担の公平性や負担能力に応じた公平な負担とすることにより約4千400億円、高額な薬剤の薬価引き下げにより約1千960億円、被用者保険の介護納付金に対する総報酬割りの導入により約4千430億円を圧縮、協会けんぽの国庫補助の負担削減分の約3千210億円を加え、政府が伸びの目安としている5千000億円以内に収めるものとなっています。

今国会には、地域包括ケアシステムを強化するため、医療と介護を一体的に提供する介護医療院（仮称）の創設、被用者保険の介護納付金に対する総報酬割の導入等を盛り込んだ「介護保険法等の一部改正法案」、特定機能病院における医療の高度の安全確保等を講ずる「医療法等の一部改正法案」、病院等の多数が利用する施設での受動喫煙の防止対策を強化する「健康増進法の一部改正法案」など、厚生労働省関係の法案提出も予定されています。

安定した社会保障システムを継続するため、来年度予算及び関連法案の早期成立に努めて参りたいと思います。

また、米国では20日にトランプ新大統領が誕生します。選挙戦や記者会見等を通じて過激な発言を繰り返してきたトランプ氏、大統領就任演説で何を語るのか、興味の持たれるところです。